

株式会社 太平プレテック



テーマ

生産性向上に寄与する 大型金型製造用設備の導入

製造現場では、プレス機器の導入に力を入れてきた為に、金型製造の中でもワイヤ放電加工機工程の競争力が無かった。そこで、大型で最新の「西部製ワイヤ放電加工機M75B」を導入し、金型からプレス品までの一貫生産体制を進歩させた。それにより、納期、品質、コストで顧客の信頼を勝ち取り、国内外の競合他社に対して優位性を築けるほか大型金型対応によって更に競争力を高める。

ものづくり技術

設備のみ



佐賀市大和町大字川上157番地

本事業への取り組みの経緯

今まで弊社現有機(各軸移動量350m*600m)では競争力が十分ではなく、取引先から引き合いがあっても受注できなかったケースが多かったため、大型化(各軸移動量700m*500m)の新規設備投資ができないかと検討していたところ、取引先(商社)の紹介で【ものづくり技術】補助制度を知り、初めて申請した。総投資額の3分の2が本事業により賄われるため、導入するにあたって実績の記入など大変な面はあったが、全体的に順調に取り組み、西部製M75B_2015年製(各軸移動量750m*500m)を導入した。



実施内容

弊社の精密加工技術の向上には、サーボプレスや順送プレスを利用したプレス品の一層の競争力をつける必要があり、金型製作でボトルネックとなっているワイヤ放電加工工程に最新鋭の大型ワイヤ放電加工機を導入するとともに一貫した製品製造技術をブラッシュアップ。「西部製ワイヤ放電加工機M75B」の導入を決定し発注を行った。平成28年3月に設備搬入・設置した。立上げ・調整及びメーカーの説明を受けた後、加工テストを行い、要求精度に達していることを確認し設備検収を終えた。設備導入後の試験では金型製作時間の短縮、プレス工程の生産性向上、プレス品の品質向上、大型金型対応のすべてをクリア。設備を導入し、性能を確認した事により、精密加工技術の向上に繋がった。導入した機械で金型製作図面に合わせて、素材を平面もしくはテーパ（傾きを付けて切る）で精密に切断加工するために活用できるようになった。

取組成果・波及効果

大型で最新のワイヤ放電加工機を導入したことにより一貫した製品製造技術をブラッシュアップでき、その結果サーボプレスや順送プレスを利用したプレス品は一層の競争力がついた。具体的な成果としてはまず自社製金型の製作期間短縮が大きく、加工速度が旧機に比べ、60%アップしたことにより製作時間の短縮が可能となった。次にSPMの金型のピッチ精度の高い金型製作が可能となった。また、プレス品の品質向上。最後に大型金型対応：現状の350×600に比べて750×500と大きくなる為、プレートの大型化が可能となり、大型金型の受注が可能となった。波及効果として自動車関連で現在生産しているシート関連、内装関連を生産している新規顧客の開拓を実現、またHP上に最新機器の保有状況を掲載したことで引き合いが増加している。



業務管理課長
野口 孝幸

今後の展望・活動予定

平成28年3月に導入してから1年半が経過。29年度の受注は伸長、特に自動車関連では新規顧客を開拓したほか、HPに機械の保有状況を掲載して引き合いが増えています。現状はプレス加工80%、金型製造20%の比重ですが、今後は金型製造が30%に伸長する見込みです。また取引開始できた企業等の生産が本格化する中で、増産に合わせてプレス機などの設備や人員も増加することも想定しています。将来的には自動車産業以外にも市場を拡大する計画ですが、特にテラドブランク（溶接テラドブランクや局部増肉テラドブランクのプレス成形）の取り組みを始める予定です。

企業名	株式会社 太平プレテック
代表者	野口 清二
住所等	〒840-0214 佐賀市大和町大字川上157番地
連絡先	TEL 0952-62-7300 FAX 0952-62-7400 E-mail: taihei@d5.dion.ne.jp
HP	http://taihei-pt.com/
資本金	1,000万円
設立年月	昭和45年1月
従業員	30人
業種	金属製品製造業